

奇跡の両組優勝！

コロナ、熱中症、それから当日の天候…と心配続きでしたが、すばらしい運動会を実施することができました。

採点についても、まさかのミラクルが起きました。今年のスローガンは、「つかみとれ 優勝という 喜びを」でしたが、最後まで全力で演技や競技をした常盤小学校全員がスローガンを達成しました。当日だけでなく、子どもたちが限られた時間の練習に高い意識をもって取り組んだ結果です。

保護者の皆様には、観覧について、いろいろな制限をかけましたが、ご理解、ご協力いただき、感謝しております。

また、当日の運営や後片付けにご協力いただいた方々に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



まさかの同点優勝！

小学校のトップ切り 2校、コロナ禍で縮小

秋晴れ 笑顔の運動会



前日の大雨から一転、秋晴れとなった13日、宇部市内の小学校のトップを切って常盤、西宇部の2校で運動会が行われた。新型コロナウイルスの影響で、両校とも規模を縮小して午前中だけの開催となったが、子どもたちはこの日に向けて練習してきた成果を存分に披露した。（久保、河内）

団体演技も 息合わせ全力

【常盤】今年のスローガンは「つかみとれ優勝という喜びを」。低・中・高学年で時間を区切って実施することで密を避けた。競技数も大幅に減らし、子どもたちは各学年の徒競走、団体演技の2種目と赤白リレーで成長した姿を保護者らに見せた。

5年生は団体演技「演舞！全集中!!」で、法被と鉢巻き姿で息の合ったパフォーマンスを披露した。最後は6年生によるダンス「YOSAKOI 南蛮2020」。鳴子を打ち鳴らしながら掛け声をグラウンド中に響かせ、全力で踊り切った。

赤白対決の結果は引き分けとなり、児童たちは全員で優勝の喜びを分かち合った。